

2008年3月期決算説明会

2008年6月4日
日本ライフライン株式会社

2008年3月期決算報告
2009年3月期業績計画

常務取締役管理本部長
政 次 浩 二

2008年3月期決算のポイント

売上高 19,840百万円(前期比9.3%増)

- ・ PM、CRT-Dの売上増により主力のリズムデバイスが伸長

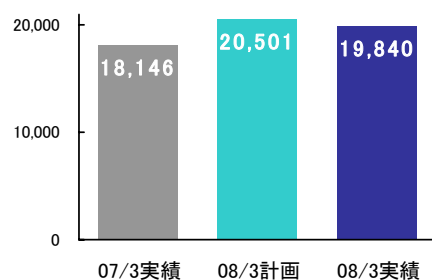
営業利益 305百万円(前期比56.1%減)

- ・ エラ社商品導入、SGJ社合併に伴う費用増が先行
- ・ 人工血管の保険償還価格引き下げが影響

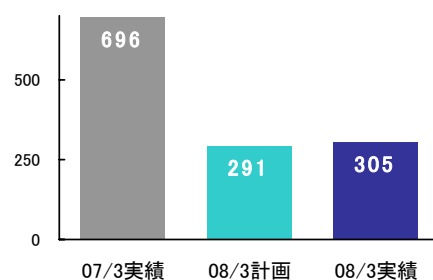
2008年3月期業績

(単位;百万円)	2007/3期 実績	2008/3期 計画	2008/3期実績		
			金額	前期比増減率	計画比増減率
売上高	18,146	20,501	19,840	9.3%	△3.2%
営業利益	696	291	305	△56.1%	4.8%
経常利益	1,142	487	591	△48.3%	21.2%
当期純利益	508	244	236	△53.5%	△3.5%

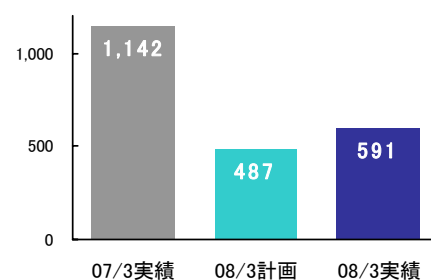
-売上高-



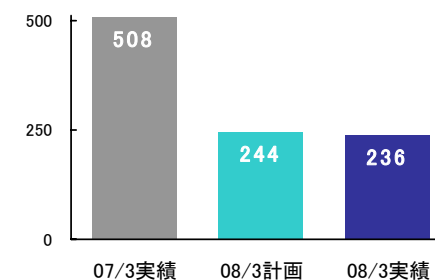
-営業利益-



-経常利益-



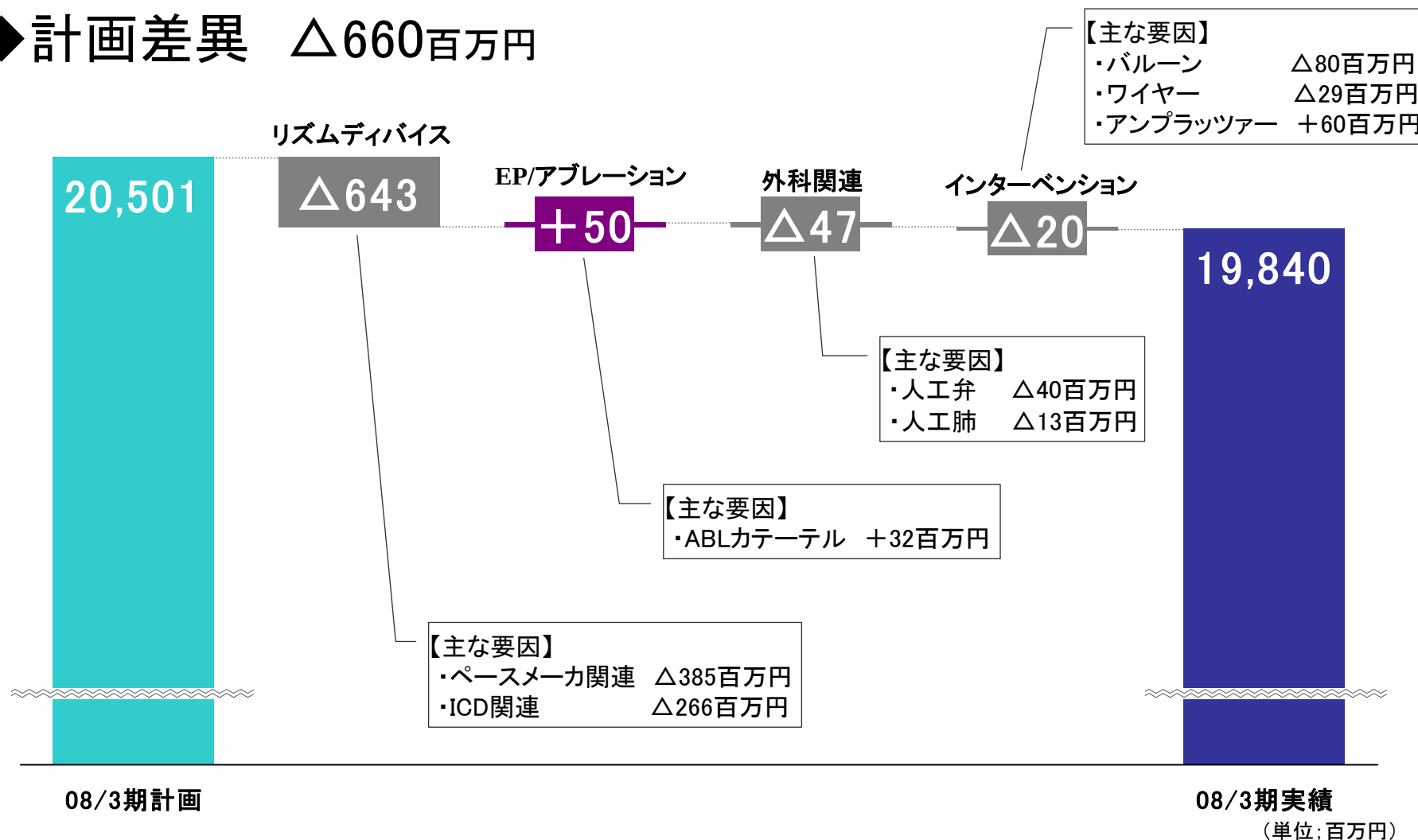
-当期純利益-



(単位:百万円)

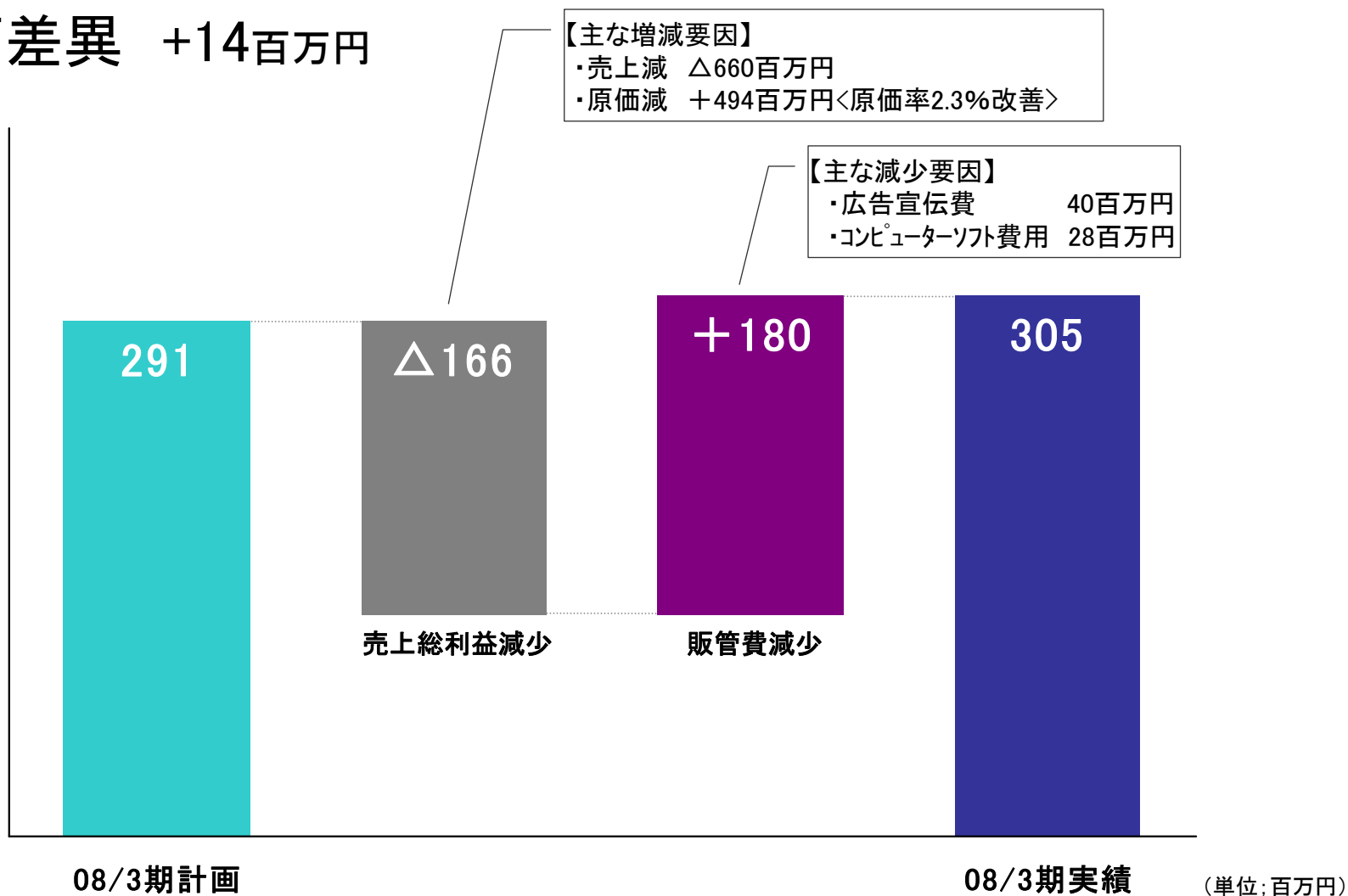
計画差異要因－売上高

◆計画差異 △660百万円

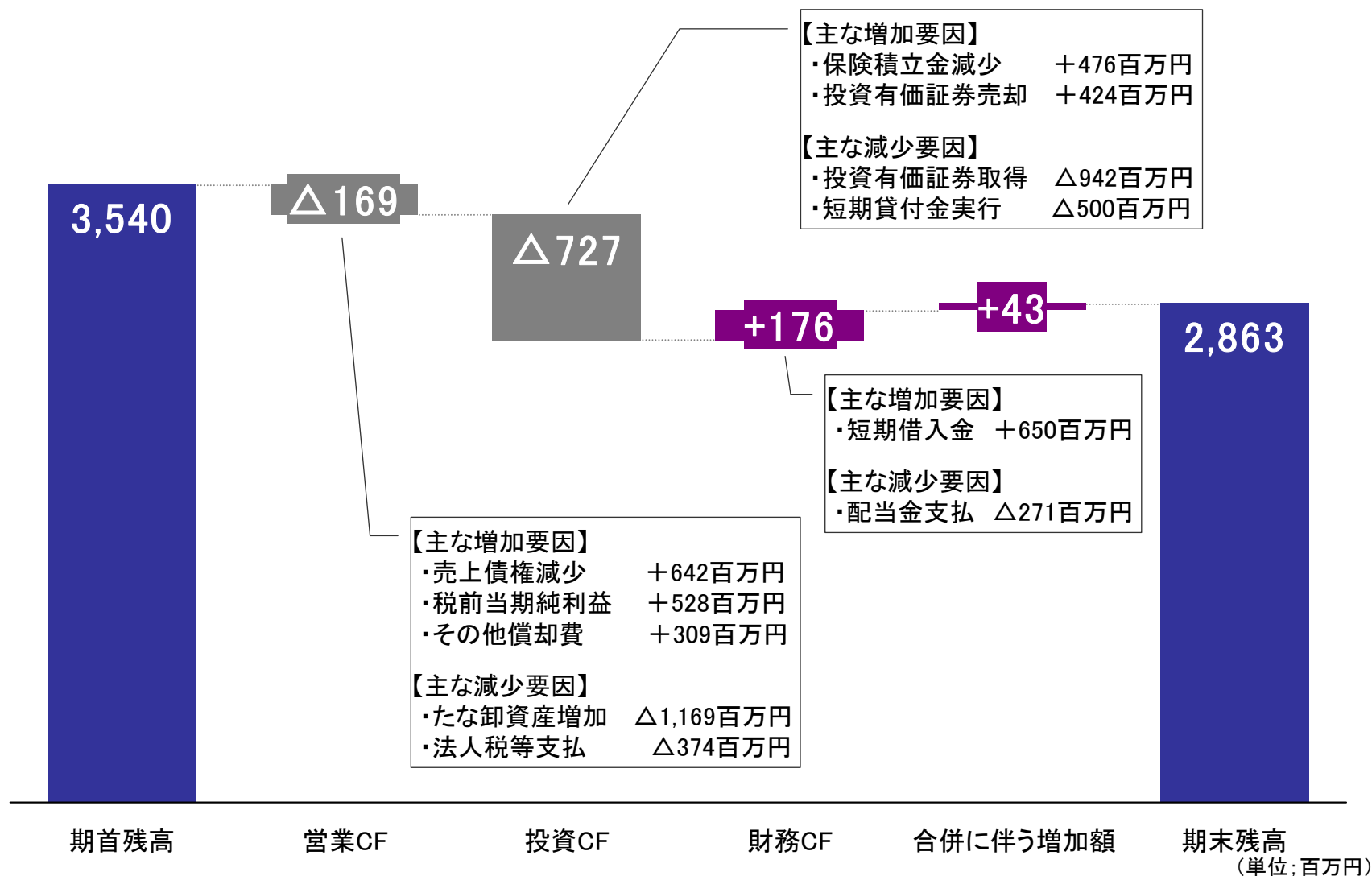


計画差異要因－営業利益

◆計画差異 +14百万円



キャッシュ・フローの状況



2009年3月期計画のポイント

売上高 19,729百万円(当期比0.6%減)

- ・ 全般的に売上数量増を見込むが保険償還価格引き下げの影響を受け減収

営業利益 421百万円(当期比38.0%増)

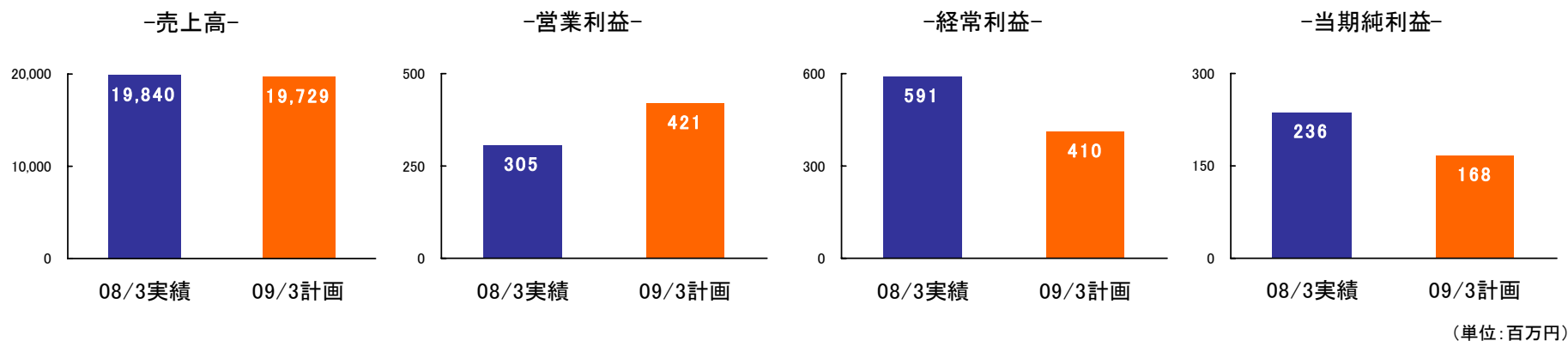
- ・ エラ社商品の売上比率上昇に伴い粗利益率が改善

経常利益 410百万円(当期比30.6%減)

- ・ 営業外収益が大幅減少
(受取保険金及び配当金 08/3期 231百万円→09/3期 無し)

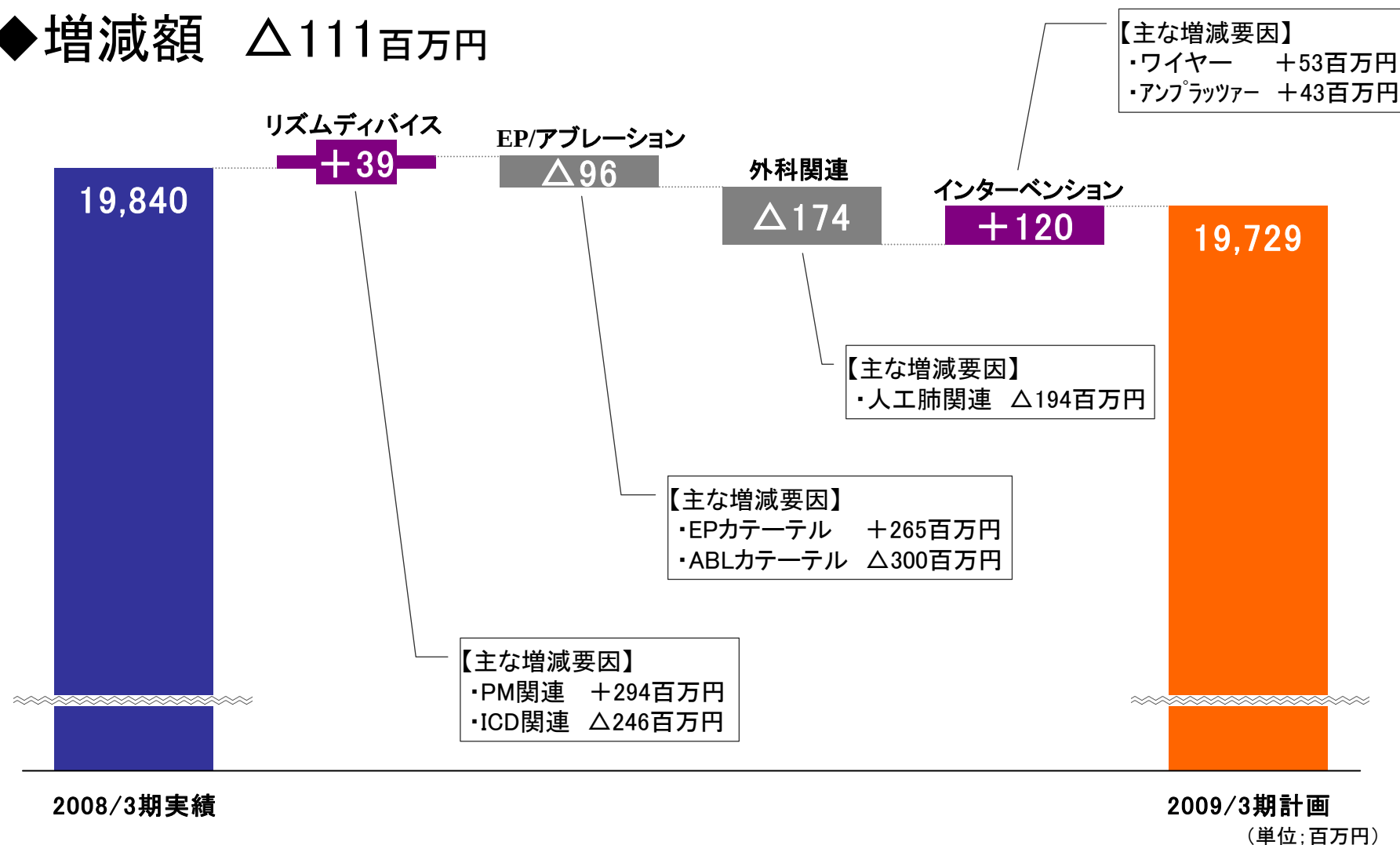
2009年3月期通期業績計画

(単位:百万円)	2008/3期実績		2009/3期計画			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比増減額	前期比増減率
売上高	19,840	100.0%	19,729	100.0%	△111	△0.6%
営業利益	305	1.5%	421	2.1%	116	38.0%
経常利益	591	3.0%	410	2.1%	△181	△30.6%
当期純利益	236	1.2%	168	0.9%	△67	△28.7%



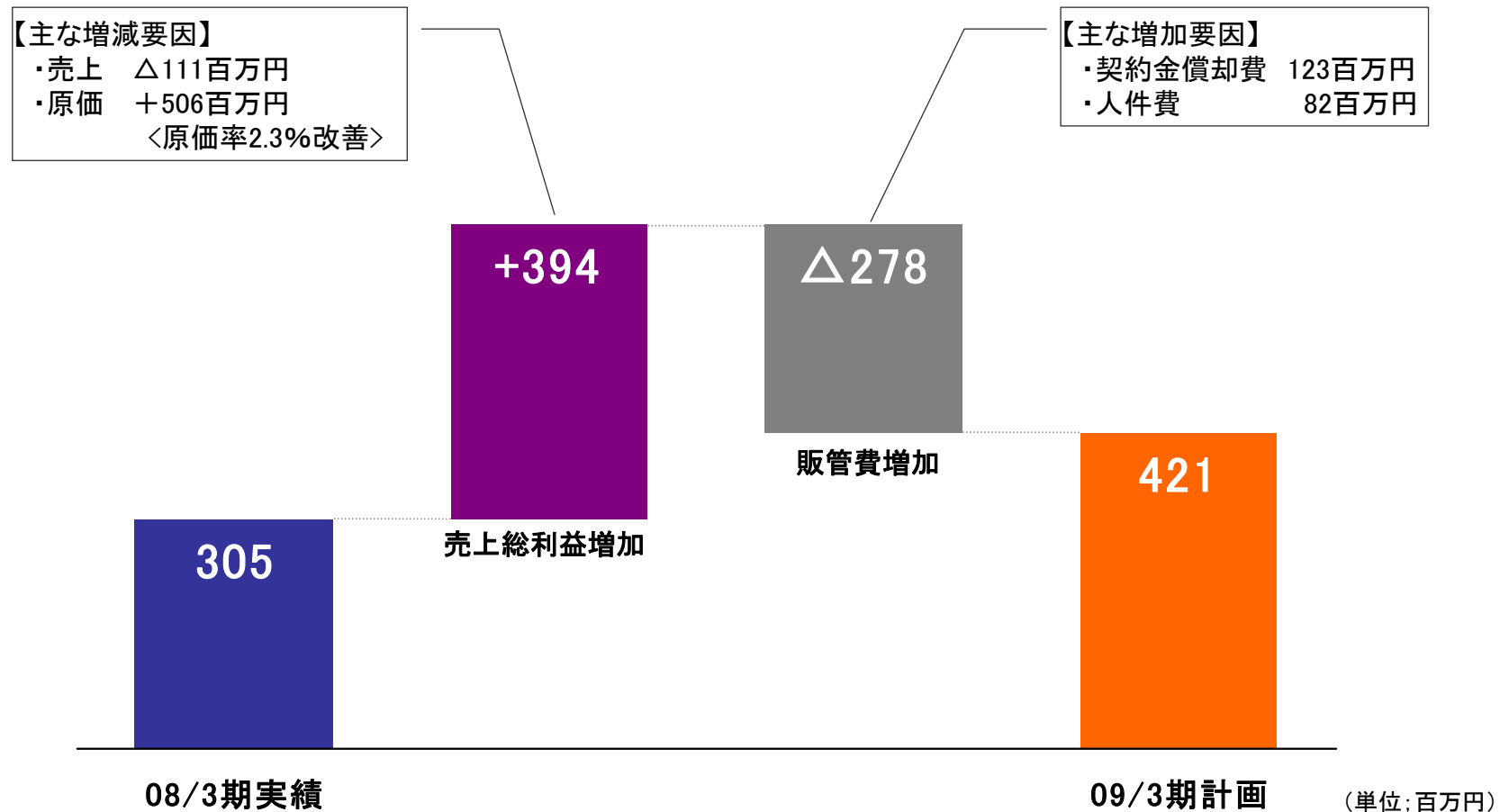
2009/3期計画 売上高(2008/3期比較)

◆増減額 $\Delta 111$ 百万円



2009/3期計画 営業利益(2008/3期比較)

◆増減額 +116百万円



補足データ

(単位;百万円)	2005/3期	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期 計 画
設 備 投 資 額	173	271	144	305	205
減 価 償 却 費	223	211	150	206	234
研 究 開 発 費	151	257	202	225	283
期 末 従 業 員 数	346名	364名	370名	419名	448名

(資料)要約損益計算書

(単位:百万円)

	2007/3期	2008/3期		2009/3期計画	
	金 額	金 額	前期比	金 額	前期比
売 上 高	18,146	19,840	9.3%	19,729	△0.6%
売 上 原 価	9,575	10,626	11.0%	10,120	△4.8%
売 総 利 上 益	8,570	9,214	7.5%	9,609	4.3%
販 管 費	7,874	8,908	13.1%	9,187	3.1%
営 業 利 益	696	305	△56.1%	421	38.0%
営 業 外 益	467	354	△24.1%	19	△94.5%
営 業 外 用	21	69	226.2%	31	△55.1%
経 常 利 益	1,142	591	△48.3%	410	△30.6%
特 別 利 益	111	127	13.8%	—	△100.0%
特 別 損 失	61	189	209.4%	2	△98.7%
税 前 利 益	1,192	528	△55.7%	407	△22.9%
法 人 税 等	684	292	△57.3%	239	△18.2%
純 利 益	508	236	△53.5%	168	△28.7%

(資料)セグメント別売上高

(単位:百万円)

	2007/3期	2008/3期		2009/3期計画		
	金 額	金 額	前 期 比	金 額	前 期 比	
ペ ー ス メ ー カ 関 連	7,609	8,050	5.8%	8,344	3.7%	
I C D 関 連	1,601	2,124	32.7%	1,877	△11.6%	CRT-D含む
そ の 他	50	72	43.5%	64	△10.6%	
リズムデバイス計	9,261	10,247	10.6%	10,287	0.4%	
E P カ テ ー テ ル	1,099	1,279	16.3%	1,545	20.8%	自社製造製品
A B L カ テ ー テ ル	1,468	1,733	18.1%	1,432	△17.3%	自社製造製品
そ の 他	76	122	60.3%	61	△50.1%	
E P / A B L 計	2,644	3,135	18.6%	3,039	△3.1%	
人 工 弁	1,063	888	△16.5%	945	6.4%	
人 工 肺 関 連	492	478	△2.8%	284	△40.6%	
人 工 血 管	2,704	2,538	△6.1%	2,503	△1.4%	
そ の 他	1	2	69.6%	—	△100.0%	
外 科 関 連 計	4,261	3,907	△8.3%	3,733	△4.5%	
バ ル ー ン	1,183	1,162	△1.9%	1,112	△4.3%	
ガ イ ド ワ イ ヤ ー	448	440	△1.6%	494	12.2%	自社製造製品
ア ン プ ラ ッ ツ ァ ー	197	366	85.1%	409	11.8%	
そ の 他	149	581	290.2%	653	12.4%	フィルトラップ含む
インターベンション計	1,978	2,550	28.9%	2,670	4.7%	
合 計	18,146	19,840	9.3%	19,729	△0.6%	

課題と展望

代表取締役社長
鈴木 啓介

エラ・メディカル社との販売契約締結の意義

＜中長期展望から＞

◆エラ社は優れた製品開発力を保有

→**主力のCRM事業の競争力強化、安定的成長**

＜具体的成果として＞

◆当社顧客＋SGJ社※顧客→**売上数量増**

◆エラ社商品比率の上昇→**粗利益率改善**

※SGJ社＝Sorin Group Japan株式会社

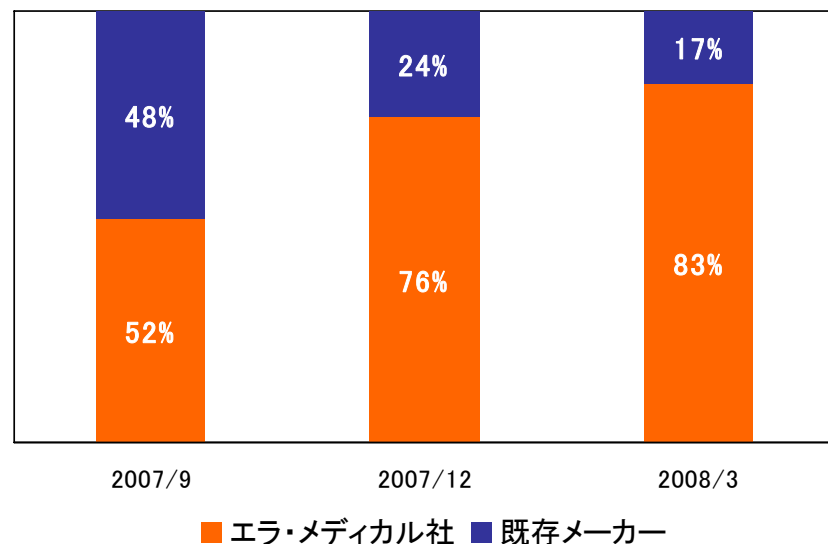
従来エラ社商品を販売していた日本法人。

昨年9月、エラ社商品販売開始とともに当社に吸収合併。

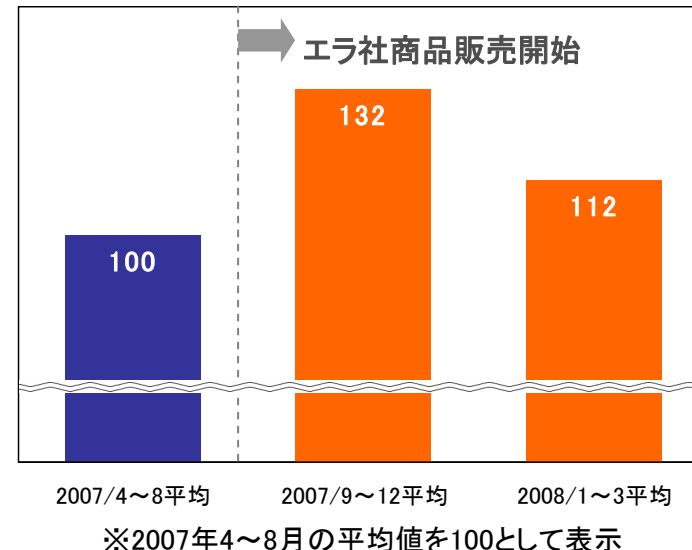
ペースメーカーの販売状況

- ◆売上構成はエラ社商品へシフトが進む
→利益率改善に寄与
- ◆既存商品からの切替に時間を要している
→売上数量の伸びが鈍化

【PMメーカー別売上構成/数量ベース】



【ペースメーカー1日あたり売上数量】



ペースメーカーの課題

＜現 状＞

- －エラ・ブランドの日本での知名度が低い
- －商品の性能・機能を十分理解して頂けていない

＜来期の課題＞

- ➡ エラ・ブランドの確立と浸透
- ➡ 新商品投入によるシェア拡大

ペースメーカー新商品①

- ◆商品名 Reply(リプライ)
- ◆特長
 - ー世界最小クラス 8cc/20g
 - ー長寿命 9年
 - ーSafeR機能搭載
(unnecessary心室ペーシングを最少化)
- ◆発売開始 2009/3期第3Q予定

現行商品:「シンフォニー」



10.5cc/24g

新商品:「リプライ」



8cc/20g

ペースメーカー新商品②

Replyは…

- ◆競合機種は現時点で1メーカーのみ
- ◆保険償還価格改定の影響が無い
- ◆患者・医療機関にベネフィットを提供
- ◆流通価格の見直しが可能

【ペースメーカー保険償還価格】

(千円)

分類	旧価格	2008/4	下落率
デュアルチャンバ(Ⅳ型)	1,330	1,330	—
デュアルチャンバ(Ⅲ型)	1,270	1,100	13.4%
デュアルチャンバ(Ⅱ型)	1,222	1,050	13.9%
デュアルチャンバ(Ⅰ型)	1,110	1,040	5.5%

Replyに
適用見込み

ICD（植込み型除細動器）の状況

- ◆従来商品の在庫消化のため市場浸透に遅れ
- ◆在庫問題の解消により本格的な拡販へ
- ◆機能・性能面で優れた製品

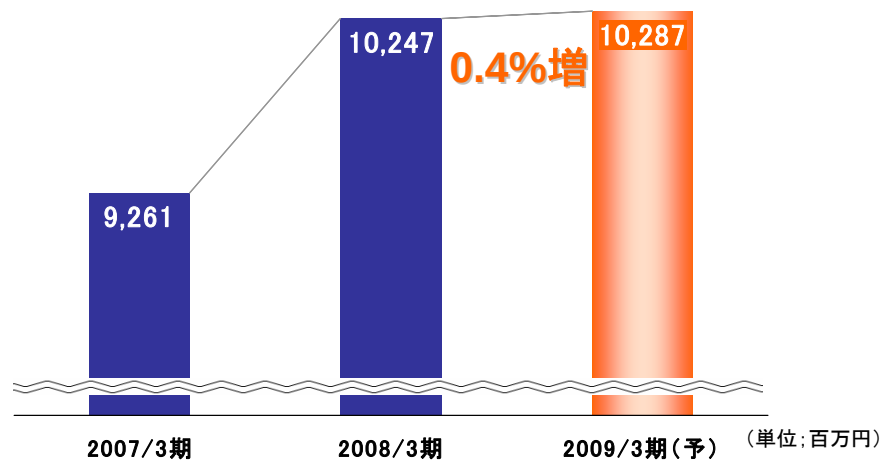
- ・商品名 Ovatio（オベিশオ）
 - ・特 長
 - ー世界最小クラス 30.8cc
 - ーPARAD+（不適切な除細動のショックを最小限に抑制）
 - ーSafeR（不必要な心室ペーシングを最少化）
- 同機能を搭載した世界初のICD



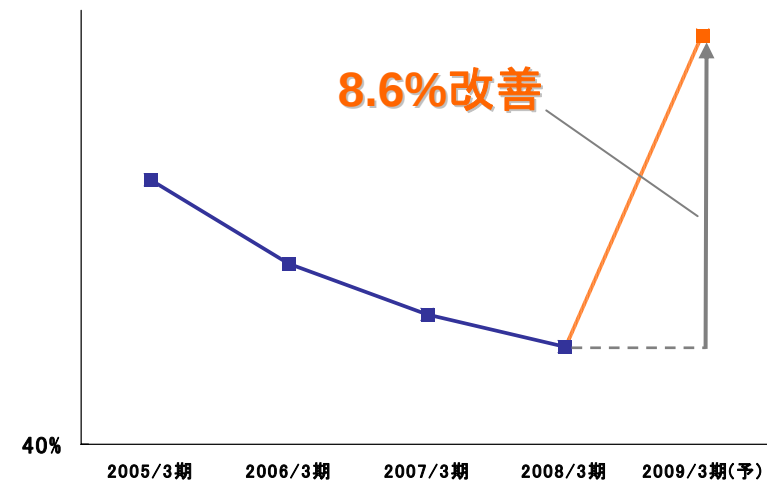
リズムデバイス見込み

- ◆保険償還の影響により売上高はほぼ横ばい
- ◆エラ社商品比率の上昇により粗利益率改善
ーPM、ICDに加えエラ社製ICDリードも販売開始

【リズムデバイス売上高見込み】



【リズムデバイス粗利益率見込み】



外科関連＜人工肺＞

◆取扱商品メーカーの変更

ーソーリン・グループ製人工肺の販売開始(2008年4月)

ー25年の歴史を持つ世界的ブランド

- ・商品名: PRIMOX(プリモックス)
- ・高効率のガス交換性能、先進的デザイン等優れた商品
- ・初のソーリン・グループブランドの人工肺
 - ー従来はグループ傘下の各ブランド名(Dideco、Cobe)にて商品展開

PRIMO₂X



インターベンション①

◆バルーンカテーテル

- ー 現行商品「オッティモ・ロッソ」の改良モデル発売予定
- ー 新商品の導入準備

◆血栓異物除去用カテーテル

- ー 「フィルトラップ」(ニプロ社製)
 - 血流が確保できる点に特長
- ー 2007年1月の発売以来順調に推移
 - 売上実績 467百万円(2008/3期)
- ー 引き続き成長が見込まれる

インターベンション②

◆構造的心疾患領域

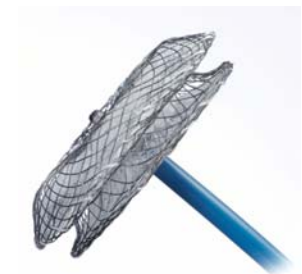
―今後、不整脈・虚血性心疾患に並ぶ領域に

―専門部署（SHT※課）を設置し取り組み強化

※Structural Heart Therapeutics

―ASD（心房中隔欠損症）の閉鎖デバイスに続き、
多孔性ASD、PDA（動脈管開存症）用等のデバイスを
順次導入予定

➡同分野のパイオニアとして他社に先行



心房中隔欠損閉鎖器具
「アンブラッツァー・セプタル・オクルーダー」

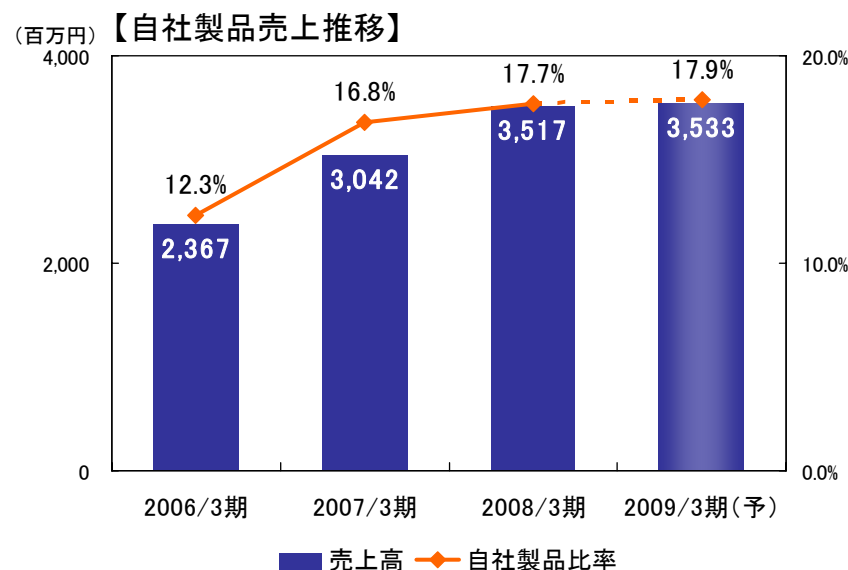
自社製造製品①

◆2008/3期実績

一売上高 3,517百万円(全社売上比 17.7%)

一粗 利 2,088百万円(全社粗利比 26.7%)

➡ 利益面における貢献度も高まる



自社製造製品②

◆2009/3期見込み

ー売上高 3,533百万円(全社売上比 17.9%)

◆EP(電気生理用)カテーテルの海外展開

ー韓国、香港へ輸出開始(2009/3期上半期予定)

ーアジア市場への本格展開に向け準備

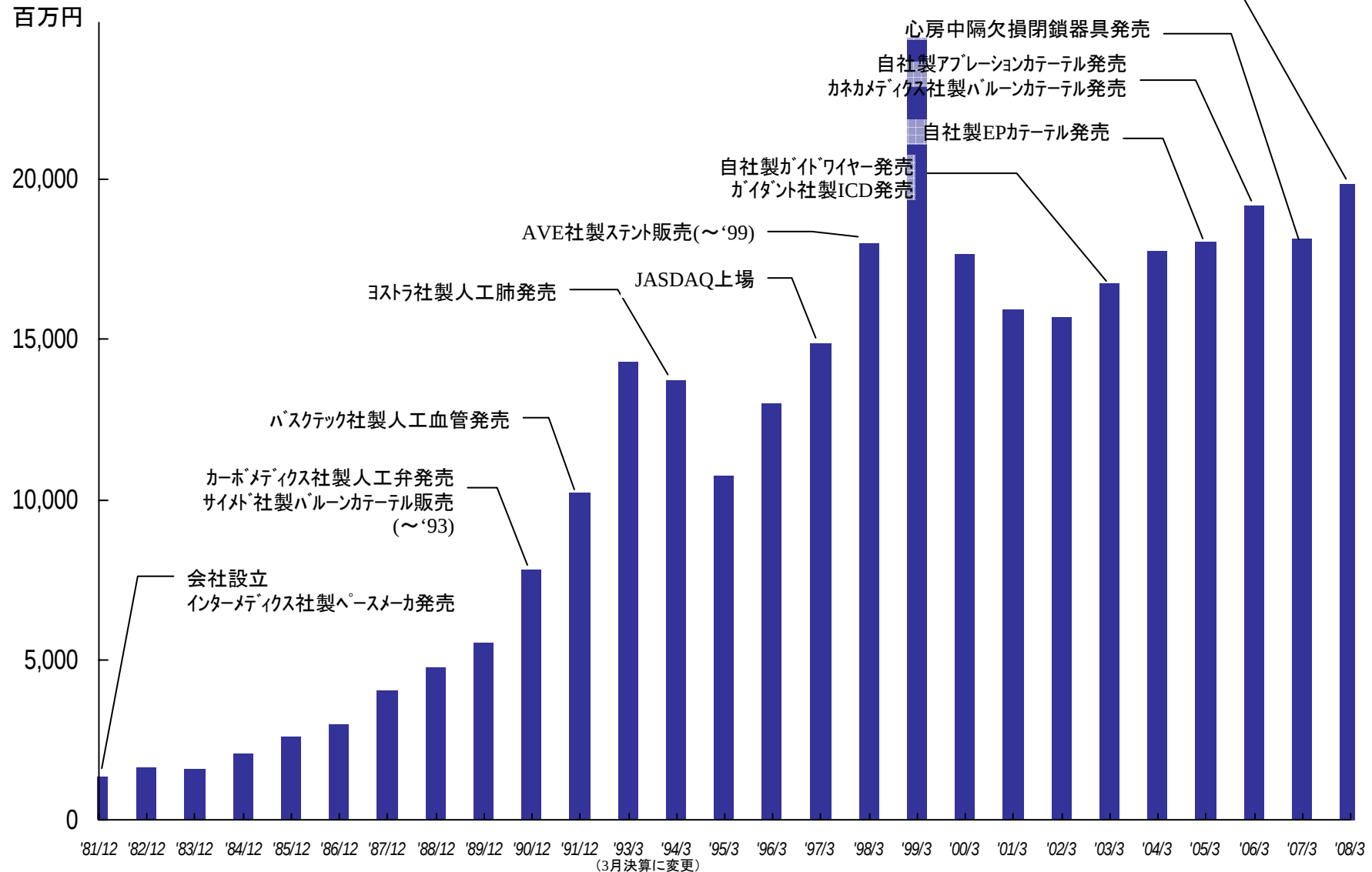
◆製造コスト削減の取り組み

ー製造工程の一部を海外へアウトソーシング

(参考)会社概要

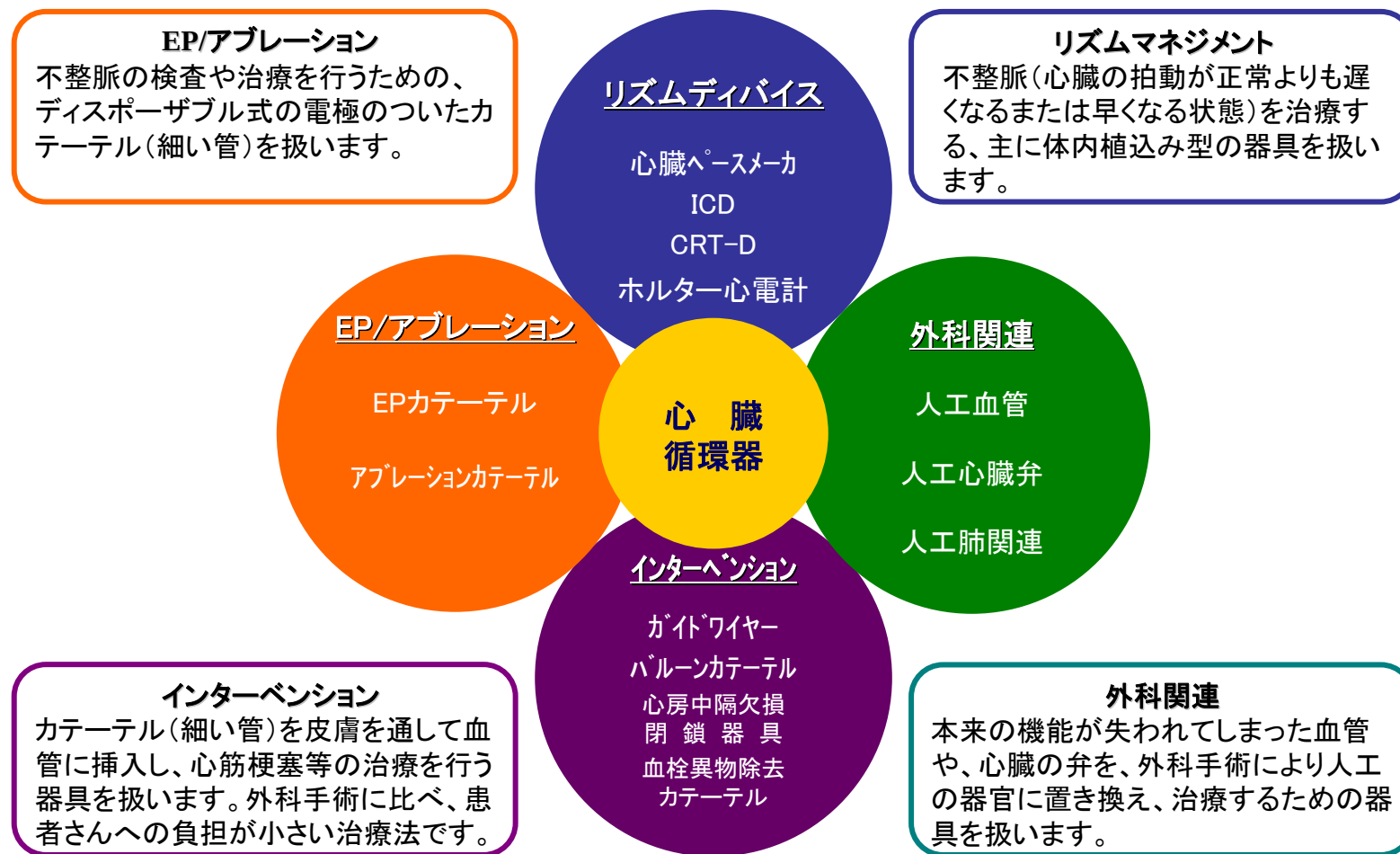
- 【商 号】日本ライフライン株式会社
- 【代 表 者】代表取締役社長 鈴木 啓介
- 【本 社】東京都品川区東品川2-2-20天王洲郵船ビル
- 【設 立】1981年2月6日
- 【上 場】1997年12月8日(JASDAQ)
- 【証券コード】7575
- 【事業内容】医療機器の輸入、製造および販売
- 【資 本 金】2,115百万円
- 【従業員数】419名(2008年3月31日現在)
- 【事 業 所】営業所(25)、出張所(3)、商品センター
リサーチセンター、浮間ファクトリー
天王洲ACCADEMIA(研修センター)

当社歴史と売上高の推移

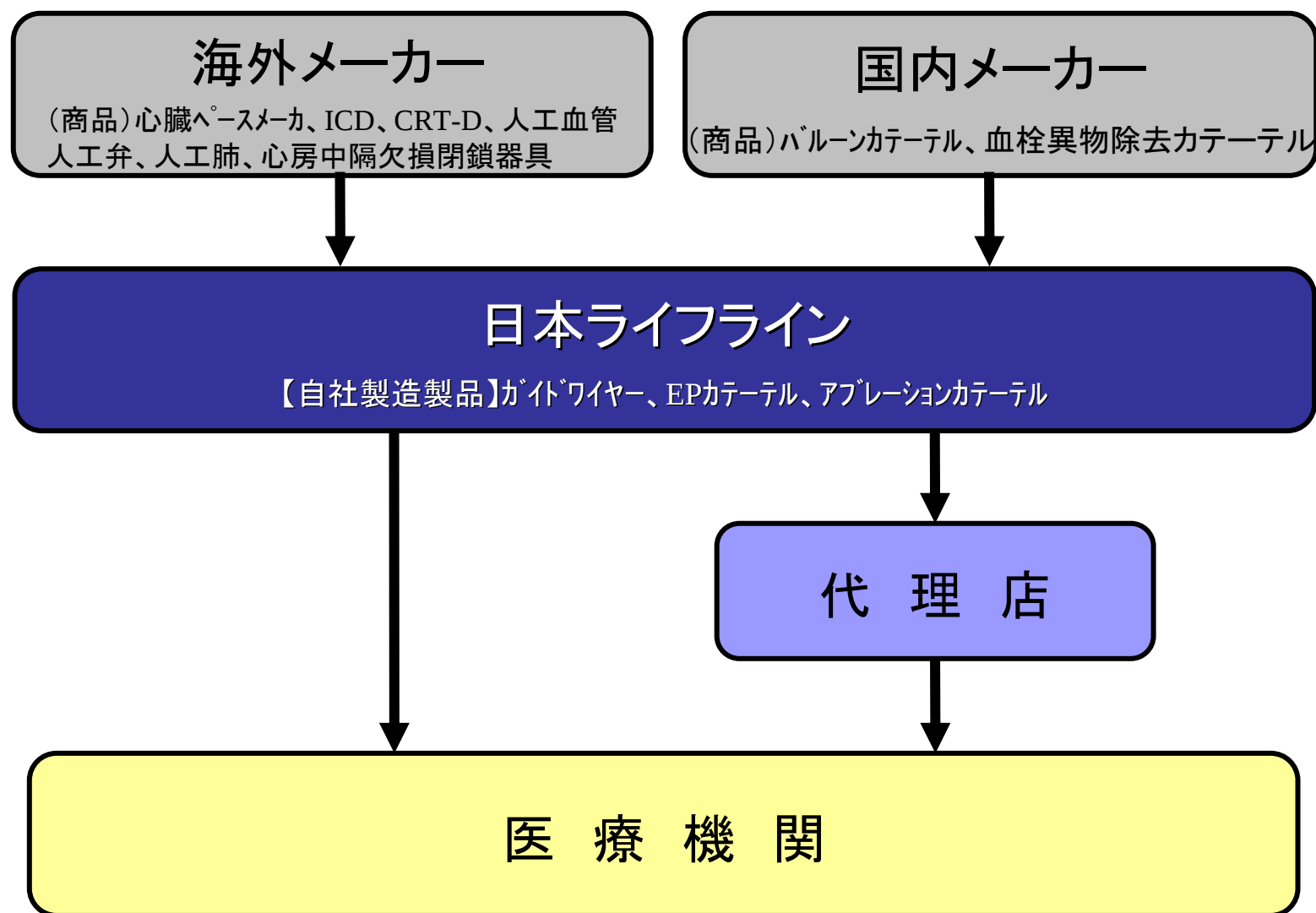


事業領域

当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムデバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンション、の4つに大別されます。



商品の流通経路



商品紹介:リズムデバイス



心臓ペースメーカー
(Ela Medical社製)

心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈(徐脈)に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

心臓の拍動が異常に早まる不整脈(頻脈)のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。



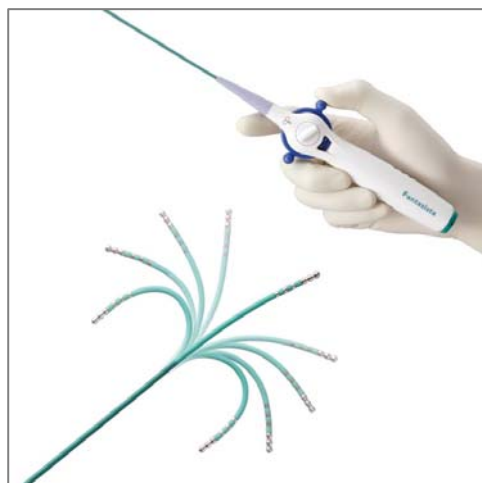
ICD(植込み型除細動器)
(Ela Medical社製)



ホルター心電計
(Ela Medical社製)

長時間の心電図を記録することで、短時間で出現しない異常や日常生活での心臓の状態を記録します。

商品紹介:EP/アブレーション



アブレーションカテーテル

(自社製造製品)

頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流により焼き切り治療します。



EP(電気生理用)カテーテル

(自社製造製品)

不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。



商品紹介：外科関連



人工心臓弁
(Carbomedics社製)

心臓内の血液の逆流を防ぎ、正しい流れを保つために機能している心臓弁が、十分に開かなくなったり、完全に閉じなくなった場合に、人工心臓弁に置き換え、本来の機能を回復させます。

動脈瘤（動脈の壁に瘤ができ、場合によっては破裂、出血する）などで痛んだ血管を切り取って人工血管に置き換えたり、バイパスとして使用します。



人工血管
(Vascutek社製)

人工弁付血管
(Carbomedics社製)



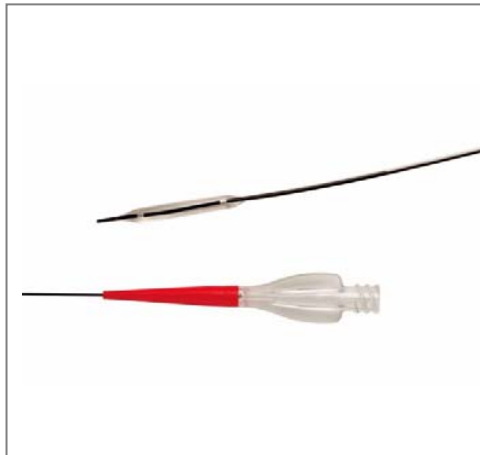
人工心臓弁と人工血管が一体となっており、大動脈弁と弁につながる動脈を同時に交換する場合に用いられます。

心臓の外科手術を行う場合、一時的に心臓を停止させ、人工心肺装置により血液を循環させますが、その際血液中の二酸化炭素を除去し、酸素を供給する肺の働きをします。

人工肺
(Sorin Group社製)



商品紹介：インターベンション



バルーンカテーテル
(カネカメディックス社製)

心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管(冠動脈)が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船(バルーン)を拡張させ、再度血流を確保します。

バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。



先端イメージ図
ガイドワイヤー
(自社製造製品)

心房中隔欠損閉鎖器具
(AGA Medical社製)



商品名:「アンプラッツァー」

先天的に心臓の左右の心房を隔てる壁に穴が開いている疾患(心房中隔欠損症)を、従来の外科手術ではなくカテーテルを用いて治療します。

血管内の浮遊血栓等の血管内異物を捕捉または除去するカテーテルです。バスケットがフィルター型のため血流を確保することができます。

血栓異物除去用カテーテル
(ニプロ社製)



商品名:「フィルトラップ」

■ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、日本ライフラインの将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品に関し、治験に関する事項、薬事法の承認に係る事項、および発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社

経営企画室 山田

電話 03-6711-5214

Mail ir@japanlifeline.com

URL <http://www.jll.co.jp>



... for patient comfort.